

社会福祉協議会だより

～中川地区～

H26. 8. 10 NO. 5

お楽しみ会食会

一人暮らしのお年寄りを対象とした恒例の“お楽しみ会食会”が6月24日、中川西地区センターで開催され、近隣の30名の方が参加されました。

受付後、保健活動推進員による、基礎代謝量、体脂肪率など10項目の体内組成測定が行われました。体内年齢は、ほとんどの方が実際の年齢より若く、結果を見ながら、皆さんとても嬉しそうでした。

参加者が全員揃ったところで自己紹介。お弁当と友愛活動員の方が心を込めて作るお味噌汁をいただきながら懇談に移りました。久しぶりの方、初めての方、それぞれお話が弾んでいました。

食後は津島祐子先生の「らくらくストレッチで脳トレ！」です。声を出しながらのお口の体操、指、腕、首、足と続き、タオルを使いながらのストレッチ。途中、左右異なる動きに混乱して爆笑するなど、皆さんとても楽しそうでした。



最後に津島先生の伸びやかな声とキーボード演奏に合わせ4曲を大合唱。締め「東京音頭」では、手振りをつける方もいて、大いに盛り上がりました。

にこやかで元気な先生のご指導で、身も心もほぐれた一時でした。

地域福祉活動計画

地域福祉・防災アンケート調査などを基に、中川地域のこれからの福祉活動について、今年3月、次の3つの活動計画が出されました。

- ・ 地域の方が気楽に集える場「なかなかサロン」の実施
- ・ 支援を必要とする方に支援を届けるための方策を話し合う場「なかなかネット」の設置
- ・ 中川地区社協を知ってもらい参加者を広げる

これを受け、中川地域ケアプラザで「なかなかサロン」が開催されたので、その模様をお伝えします。

なかなかサロンがスタート

中川の仲間の輪を広げよう！と、6月25日に開始された“なかなかサロン”。 回覧板で知った方、ケアマネジャーから勧められた方など、15名が参加されました。

お茶菓子とお代わり自由な飲み物が用意され、サロンの雰囲気の中、まずは自己紹介。中川に住んで何年？持病との付き合い方、以前の居住地と中川の違い、近隣の温泉情報など、楽しく話が弾みました。



このサロンは、だれでも気軽に立ち寄れる交流の場であり、憩いの場です。年齢も性別も関係なく、毎月第2と第4水曜日の午後1時から3時まで自由に参加できます。

当日は男性が4～5名と少なかったですが、沢山の方に参加していただき、日頃の想いや、困っていること、楽しみなど、人とのつながりを感じながら、会話をとお楽しみいただければと願っています。男性、女性それぞれの話を聞くことで、お互いの立場が理解でき、夫婦円満など思わぬ効用もあるかもしれません。

子育て中の方は、子供と一緒にご参加ください。先輩からのアドバイスで、肩の力を抜くことができるでしょうし、育児の仲間作りにも役立つと思います。

皆で支えあい、「お互いさま」の地域を作っていきたいと願っています。

今後の日程は中川地域ケアプラザ（☎500-9321）や民生委員などにお尋ねください。お待ちしております！

“ハピネス都筑” 訪問記

6月27日に特別養護老人ホーム「ハピネス都筑」を訪問しました。中川地区民生委員の研修の一環として伺ったもので、19名が参加しました。

ハピネス都筑は中川駅から徒歩8分。緑豊かな一角に2009年8月に開設され、「住む・楽しむ・くつろぐ家」として特別養護老人ホーム（以下、特養）の他、デイサービス、ショートステイ、居宅介護支援センターの4つのサービスを提供しています。今回は特養についてご紹介します。

ハピネス都筑：〒224-0011 都筑区牛久保町1808-3 ☎914-8850

居室と入居者

特養の居室はすべて8畳ほどの個室になっており、ワンフロアがA～Dの4つに区分（ユニット）されています。1ユニットの定員は10名です。各ユニットにはキッチンとリビング、ダイニングが併設されており、現在、総定員の100名が入居されています。認知症の方も7割ほどいらっしゃるようですが、フロア内は自由に行き来できるようになっていました。

入居者の平均年齢は85-6歳。最高齢は101歳の女性とのこと。男女比は1：3でやはり女性が多く、要介護度の平均は4.16だそうです。

行事・活動

四季の行事や絵画・料理などのクラブ活動、カラオケや麻雀などの催しがある他、各階のリビングやユニットでは学習療法も行われており、伺った日も、1対1でのプログラムが実施されていました。

広い屋上には花壇と菜園が作られ、気分転換が図れるとともに、園芸クラブの方が枝豆やゴーヤを植えられ、収穫後は皆さんで召し上がるそうです。

看取り

特養での看取りを希望された方には、人として自然な最期を迎えられるよう援助されています。入居時の意向調査では85%の方が希望されるとのこと。

終末期には、家族が宿泊できる部屋（1泊1,000円）も完備され、併設されたキッチン付のダイニングでは、ご家族で入居者の誕生日を祝うこともできるそうです。

費用

日用品が買える売店や、週2日開業するヘアサロン、コーヒーバーなど、設備も充実し暖かい雰囲気漂うハピネス都筑。居住費が気になりますが、住民税の課税状況により4段階の料金設定となっており居住費と食費を合わせ月額33,600円から127,000円です。

この他、介護費用の1割負担と嗜好品、電気代、診療費等が利用状況に合わせて個別に加算されます。

入居状況

年間、25名ほどの新たな入居者を迎えられる特養ですが、現在270名の入居希望があり、横浜市の指導で、介護状況等を点数化し順位の高い方から入居が決められるそうです。

明るい建物に、生活しやすいレイアウトと設備。人の想いに寄り添う心が感じられる施設のあり方に、参加者からは、ここに入居したいとの声があちこちから聞かれました。

